

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		事業コード		担当部課	部課コード	TEL	820100		2998-9238		
820117		放課後支援事業		学校教育課							
開始年度		平成15年度		→		終了年度		年度			
②事業の概要		事業の種類			<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令			
		分野別計画・指針						所沢市放課後支援事業「ほうかごところ」実施要綱			
		関連・類似事業			放課後児童健全育成事業(児童クラブ)(青少年課)、放課後3事業連携等推進事業(青少年課)						
		総合計画の体系			章		教育・文化・スポーツ		節		学校教育
					基本方針		地域におけるネットワークの強化				
		事業開始の背景			近年、社会が大きく変化する中で、児童が放課後安心して遊べる場所が少なくなってきた。また、核家族・少子化の傾向も加速し、異年齢間での集団での遊びや学びを通じた交流を持つことも難しくなり、日常的な小集団での遊びを通して身に付けてきた社会性を学ぶ機会も減ってきた。そこで放課後の児童の居場所として、学校施設を利用して「ほうかごところ」を開始した。						
③事業の内容		目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)									
		遊びや学びを通して、児童の創造性、自主性、社会性などを養う機会を増やすため、安心して活動できる居場所を提供する。									
		対象(誰を、何を対象としているのか)			対象数		単位		平成 26 年度		6,193 ¹ 人
		当該小学校在籍児童(各年度5月1日現在)							平成 27 年度		6,209 ¹ 人
		事業の具体的な内容及び実施方法									
		①実施校の全児童が対象。 ②学校の放課後の施設を借り、地域で「ほうかごところ」の運営委員会を組織して方針を定め、その方針に基づいて放課後支援員や地域のボランティアが実施する。 ③事業に登録した児童が、放課後、学校の施設を利用し、自主的に遊び・触れ合い、支援員が見守る。 ④実施は、原則として平日の授業終了から午後6時まで。 ⑤登録児童の費用は保険料のみ。									
④経費		＜会計種別＞	一般会計	平成 26 年度 (千円)		平成 27 年度 (千円)		平成 28 年度 (千円)			
		当初予算		48,548		48,318		49,317			
		決算(見込み含む)		45,786		43,259					
		(非常勤特別職員)	(臨時的任用職員)	(0.00 人)		(53.00 人)		(0.00 人) (53.00 人)			
		正規職員人件費		0.80 人		6,977		0.80 人		6,928	
		事業費合計		52,763		50,187					
		財源内訳	一般財源	40,259		32,910		28,916			
			国・県支出金	12,504		17,277		20,401			
			その他()	0		0		0			
⑤実績		項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標			
		活動実績	事業実施学校数	事業実施学校数(学校教育課所管分)	校	10	10	10	10		
			年間利用のべ児童数	年間利用のべ児童数(10校分)	人	70,418	74,113	74,000	70,000		
			開設した日数	10校の年間平均開設日数	日	185	188	185	185		
⑥成果		項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標			
		成果指標	当該小学校在籍児童の事業登録率	登録児童数/在籍児童数(当該年度末現在)	%	目標値	60	60	60	60	
						実績	52	51	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図る	<input type="checkbox"/> 「実績」縮小図る	
		目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています	%	達成率	87	85	↑どちらかをチェックしてください			
⑦改善点		(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)					(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
		スタッフの研修会を夏季休業中に2回開催し、一人1回以上参加したことで、職員の資質の向上及び意識の高揚を図ることができた。					児童は高学年になると、学習塾やお稽古に通うようになり、放課後の活動の時間が確保できないことが多くなる。そのため、高学年の児童の登録の割合が減少している状況が各校で見られるため。				
⑧評価		評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	方向性の	事業実施方法(複数選択可)	理由	児童の放課後に係る関連事業について、それぞれ地域の趣旨とよさを生かした活動を行うために、連携を図っていくため。				
					<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	本事業の目的と役割について一層明確にして、運営のコスト面に関する見直しを図っていくため。				
		(1)平成28年度に取り組んでいる状況					(2)今後の方向性				
		年度初め及び1学期の終わりに担当者(指導主事)が実施校を視察し、現状と課題について、現地スタッフから情報収集を行っている。また、夏季休業中のスタッフの第1回研修会では、他校のスタッフとの情報交換会を実施した。スタッフからは、大変好評であった。					児童の安全安心な居場所を確保するとともに、地域住民による児童の健全育成が図られているため、本事業を継続していく。				
		評価日		H28.8.19		評価者職氏名		学校教育課長 堀 俊彦			
⑨環境影響		有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	電力消費・事務文書の作成			規制を受ける環境法令等	無		
								緊急事態	無		